

II. 調查結果

Ⅱ. 調査結果

1. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果の総括

福岡市は、市民100人のうち、

99人が「福岡市のことが好き」で

98人が「福岡市は住みやすい」と感じ

95人が「福岡市にずっと住み続けたい」と願い

78人が「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」と思っている。

福岡市民は、福岡市のことが好き。
住みやすさを実感しながら
これからもずっと住み続けたい。
そして、周りの人の役に立ちたい。

福岡市は、住む人の心を満たす暮らしがある。
だから、人にやさしくできるまち。

本意識調査では、「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」の主要指標を毎年継続的に調査し、経年変化を比較分析してきた。

「好き」「住みやすい」「ずっと住み続けたい」とも、肯定派が9割を超える高水準で推移し、今年度は、3つ全てにおいて、肯定派が過去最高となった。

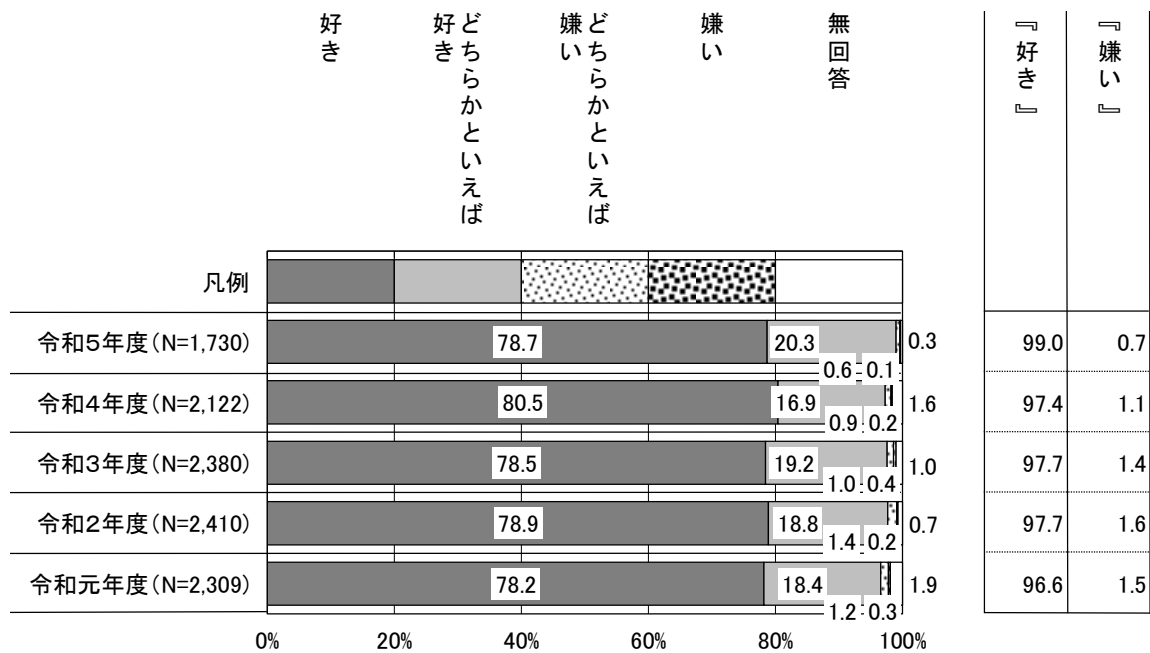
(1) 福岡市の暮らしに関する「4指標」の推移

「福岡市が好き」「福岡市が住みやすい」「福岡市にずっと住みたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」という4つの結果指標（以下、4指標という）についてみる。

「福岡市が好き」については、肯定派（＝「好き」＋「どちらかといえば好き」の計）が99.0%と過去最高となった。そのうち積極的肯定の「好き」は、78.7%を占める。

わずかではあるが、否定派（＝「どちらかといえば嫌い」＋「嫌い」の計）は0.7%で、過去5年間で最低となった。

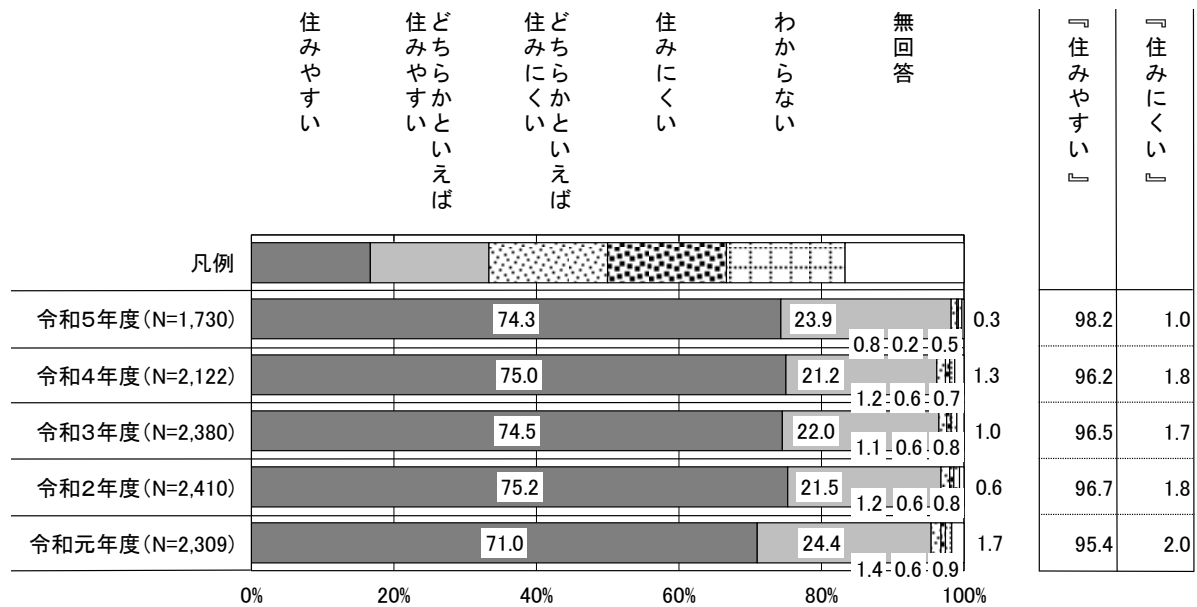
図表 福岡市が好きか【5年間の推移】



「福岡市が住みやすい」についても、肯定派（＝「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の計）が98.2%で、過去最高となった。そのうち積極的肯定の「住みやすい」が74.3%を占める。

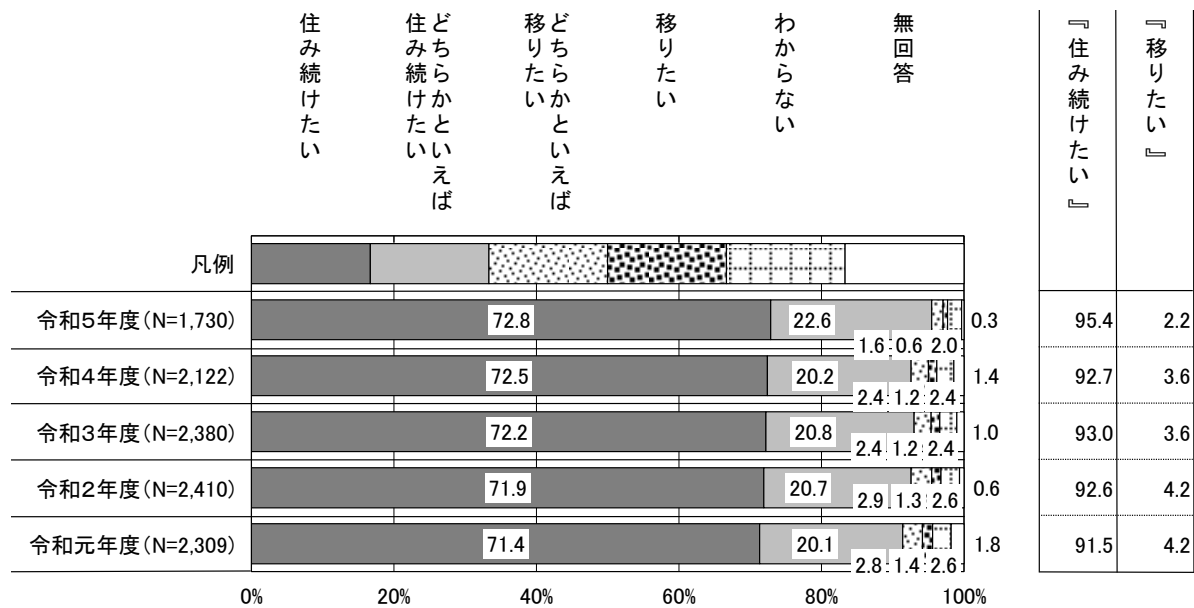
わずかではあるが、否定派（＝「どちらかといえば住みにくい」＋「住みにくい」の計）は1.0%で、過去5年間で最低となった。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【5年間の推移】



「福岡市にずっと住み続けたい」も、一貫して高い水準で、さらに上昇傾向にあり、肯定派(=「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」の計)が95.4%と、過去最高となった。わずかではあるが、否定派(=「どちらかといえば移りたい」+「移りたい」の計)は2.2%で、過去5年間で最低となった。

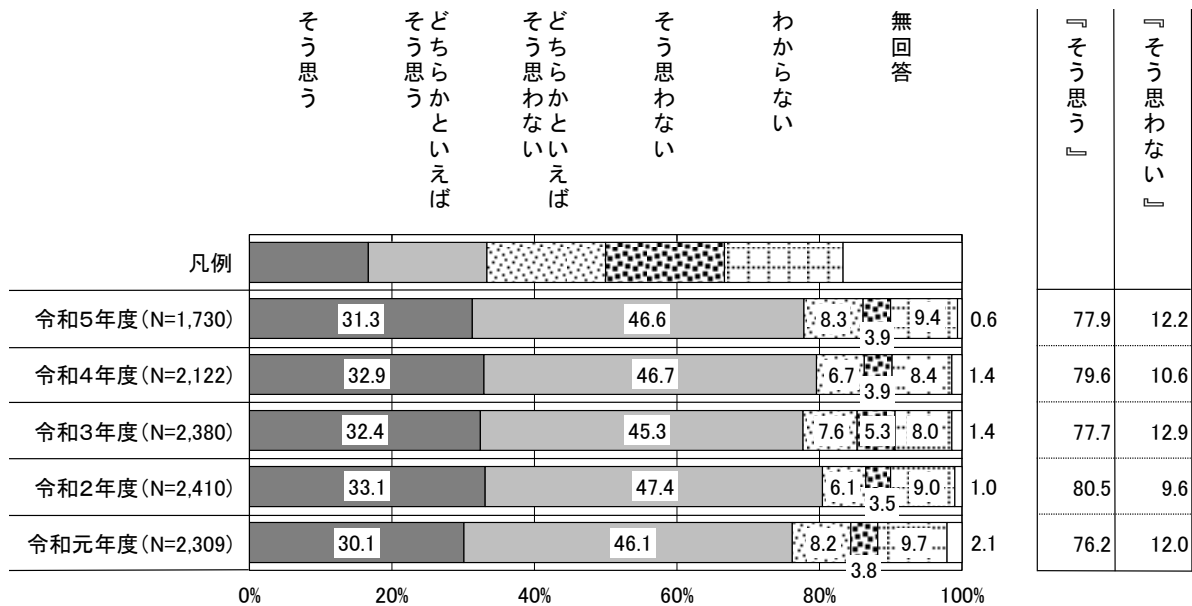
図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【5年間の推移】



「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」は、肯定派（＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計）が8割近く（77.9%）を占め、高い水準を維持している。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか

【5年間の推移】



以上のように、4指標のうち3指標が過去最高を記録し、多くの市民が、今の暮らしに満足し、これからも福岡市に住み続けたいと思っている。例年それぞれ高い水準で維持し、否定派はわずかであったが、その否定派もさらに減少しており、多様な価値観を持つ市民一人ひとりの生活満足度が、確実に上昇しているといえる。

(2) 福岡市の都市環境などの満足度（問5）

福岡市の都市環境などについて、「満足度」（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」の計）及び「不満度」（＝「不満がある」＋「どちらかといえば不満」の計）の特徴と経年推移について述べる。「満足度」については、上位項目の「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、「買い物の便利さ」、「自然環境の豊かさ」、「医療機関の充実」、「自然災害の少なさ」の5項目が全て80%以上となっている。前年度から、「自然災害の少なさ」と「交通の便」（6位）の順位が入れ替わった。上位2項目は高い水準を維持し、その他3項目はいずれも前年度から上昇している。

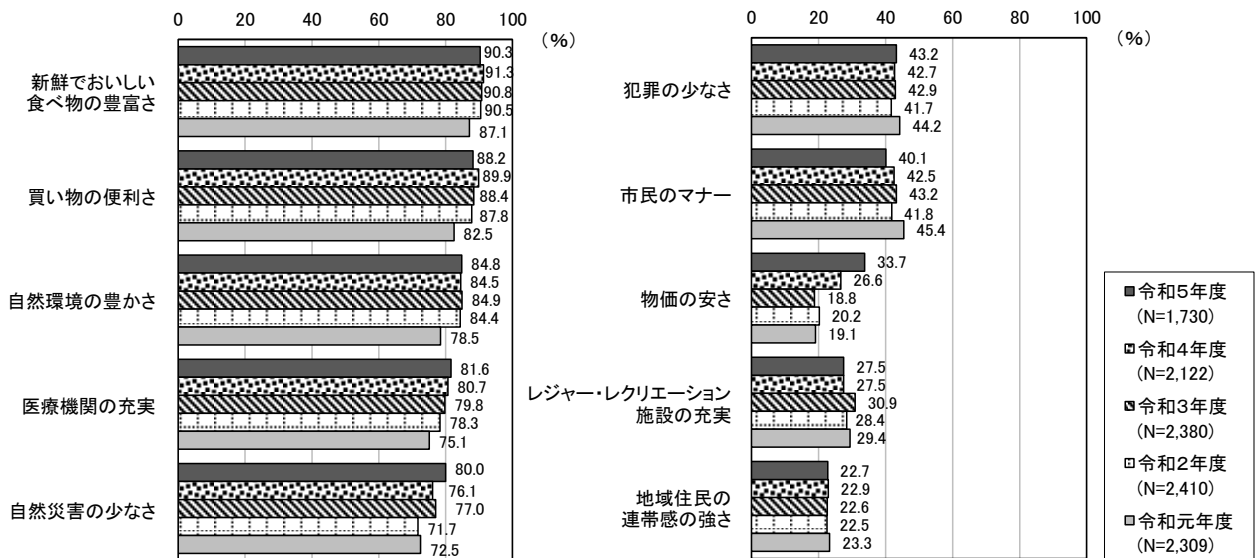
「不満度」が高いものは、「犯罪の少なさ」、「市民のマナー」、「物価の安さ」、「レジャー・レクリエーション施設の充実」、「地域住民の連帯感の強さ」で、前年度から「地域住民の連帯感の強さ」と「就業機会の多さ」（6位）の順位が入れ替わったが、どちらも数値自体は改善（不満度が低下）している。

前年度不満度が上昇した「物価の安さ」が、今年度さらに上昇しており、全国的に続く物価の上昇が一因と考えられる。

図表 都市環境などについての満足度推移

【満足度ベスト5推移】

【不満度ワースト5推移】



(3) 「福岡市の都市環境などの満足度」と「好き」「住みやすい」との相関分析

「福岡市の都市環境などの満足度」と「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」について、それぞれ相関係数（下枠参照）をもとに、相関分析を行い、それぞれの評価との関係性について考察した。

※相関係数：2つのデータがどれだけ関連性があるのかを示す係数で、-1～+1の間の数値となる。
 関連性が強ければ1に近づき、弱ければ0に近づく。逆に、正反対の動きであれば-1に近づく。

「福岡市が好き」と「福岡市の都市環境などの満足度」において、最も相関係数が高いのは、前年度同様「人の親切や人情味」で、0.297の正の相関を示し、「住宅事情」(0.290)、「地域住民の連帯感の強さ」(0.271)などが上位となった。「人の親切や人情味」、「住宅事情」は、満足度、不満度とも上位5項目には出てこないものの、市民が福岡市に愛着を感じる重要な要素となっている。「住宅事情」は、前年度は10位で、平成30年度調査でも数値は低かったが、今年度は上昇しており、『好き』で過去最高を記録した今年度は、市民の住宅環境が寄与している可能性がある。

令和3年度調査では相関係数が0.3を超えて2位で、令和4年度調査で数値(0.243)と順位(4位)を下げた「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は、さらに数値(0.242)と順位(7位)を下げた。一方、「地域住民の連帯感の強さ」は3位となり、市民の不満度は相対的に高いものの、「好き」との相関性が高い要素となっている。

図表 『好き』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
 【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問1と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和5年度	平成30年度	令和5年度	平成30年度
人の親切や人情味	0.297	0.287	77.3	77.7
住宅事情	0.290	0.192	75.7	74.3
地域住民の連帯感の強さ	0.271	0.210	51.2	51.8
自然環境の豊かさ	0.249	0.224	84.8	84.2
教育環境	0.247	0.205	60.4	60.1
子育てのしやすさ	0.244	0.229	52.2	53.7
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.242	0.231	90.3	90.7
福祉の充実	0.232	0.195	50.8	48.1
買い物の便利さ	0.227	0.243	88.2	87.8
芸術・文化水準	0.225	0.216	65.9	64.0
市民のマナー	0.205	0.219	49.5	44.8
就業機会の多さ	0.198	0.199	49.7	48.2
交通の便	0.179	0.169	77.4	76.5
物価の安さ	0.177	0.171	58.5	71.7
医療機関の充実	0.176	0.176	81.6	77.6
自然災害の少なさ	0.139	0.115	80.0	74.6
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.135	0.106	56.4	50.9
犯罪の少なさ	0.124	0.150	40.0	34.1

「福岡市は住みやすい」と「福岡市の都市環境などの満足度」の相関関係をみると、「住宅事情」(0.353)、「子育てのしやすさ」(0.352)、「買い物の便利さ」(0.307)が相関係数0.3を超えて上位となっている。このほか、「教育環境」(0.297)、「人の親切や人情味」(0.291)なども相関係数が高い。

上位3項目は全て平成30年度調査から数値が上昇し、より相関が強まっている。「好き」同様、「住宅事情」が上位項目で、数値と順位を上げた。「住宅事情」の市民満足度は8位で、数値も前年から大きな変化はないものの、「住みやすい」との相関は強くなっている。

住宅や子育て環境、教育、買い物便、交通便など、より市民生活との関わりの強い都市環境に関する項目の相関係数が上位となったのは、前年同様である。

図表 『住みやすい』と「都市環境などの満足度」の相関係数と都市環境などの満足度
【過去の調査との比較】

項目	相関係数 (問2と問5)		満足度(%) (問5)	
	令和5年度	平成30年度	令和5年度	平成30年度
住宅事情	0.353	0.299	75.7	74.3
子育てのしやすさ	0.352	0.308	52.2	53.7
買い物の便利さ	0.307	0.257	88.2	87.8
教育環境	0.297	0.272	60.4	60.1
人の親切や人情味	0.291	0.284	77.3	77.7
地域住民の連帯感の強さ	0.280	0.234	51.2	51.8
自然環境の豊かさ	0.276	0.261	84.8	84.2
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.275	0.269	90.3	90.7
福祉の充実	0.269	0.256	50.8	48.1
交通の便	0.265	0.255	77.4	76.5
就業機会の多さ	0.258	0.220	49.7	48.2
物価の安さ	0.248	0.241	58.5	71.7
芸術・文化水準	0.227	0.208	65.9	64.0
市民のマナー	0.215	0.218	49.5	44.8
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.204	0.153	56.4	50.9
医療機関の充実	0.188	0.203	81.6	77.6
犯罪の少なさ	0.154	0.190	40.0	34.1
自然災害の少なさ	0.150	0.136	80.0	74.6

2. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果

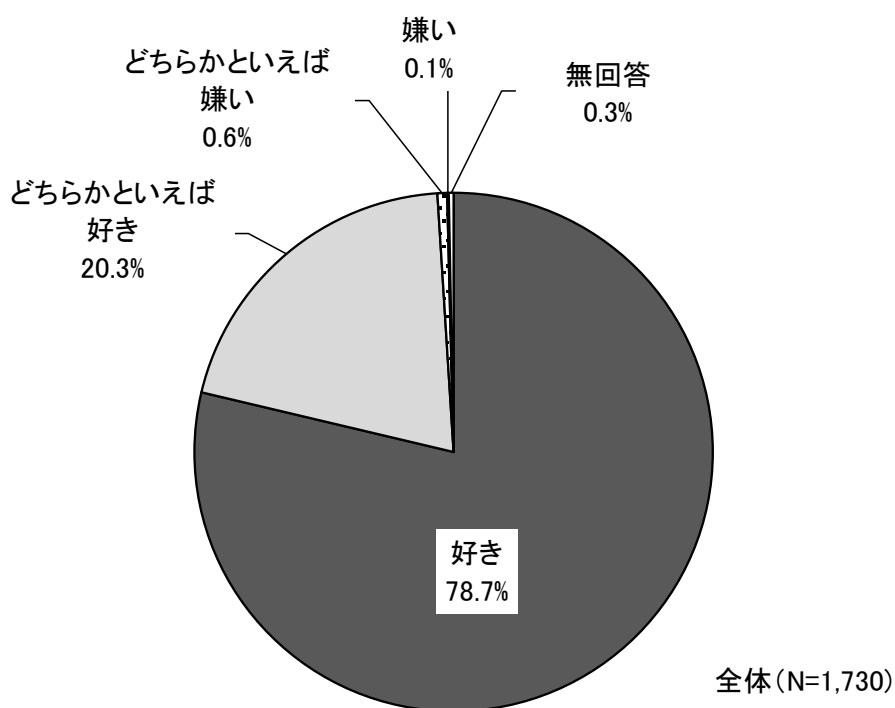
(1) 福岡市が好きか

問1 あなたは、福岡市が好きですか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

福岡市が好きかについて聞いたところ、「好き」が78.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば好き」(20.3%)となっている。

また、『好き』(=「好き」+「どちらかといえば好き」)の割合は99.0%で9割台後半となっている。一方、『嫌い』(=「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」)の割合は0.7%となっている。

図表 福岡市が好きか【全体】

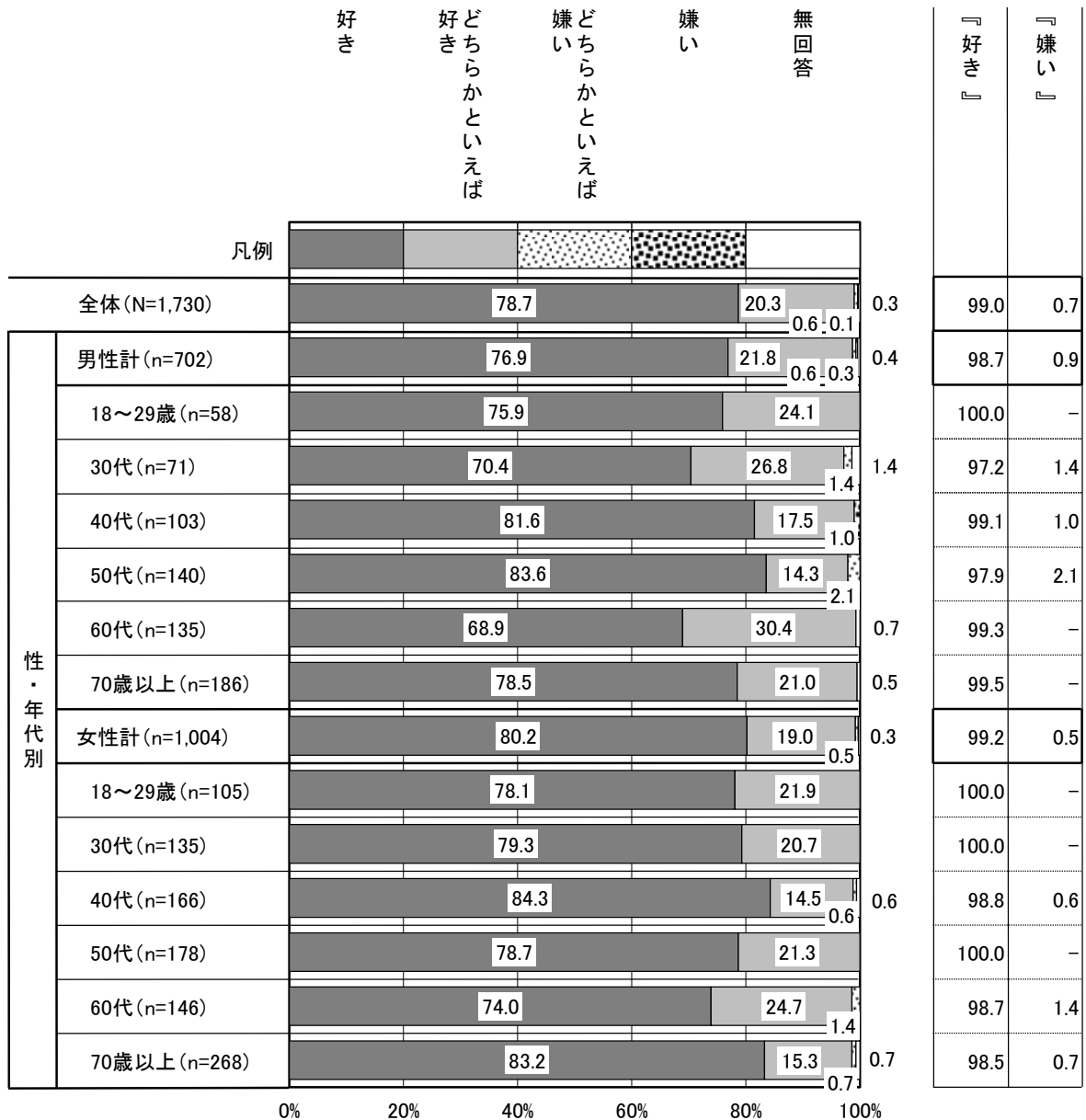


『好き』	99.0%
『嫌い』	0.7%

性別にみると、男女ともに『好き』の割合が9割を超えている。

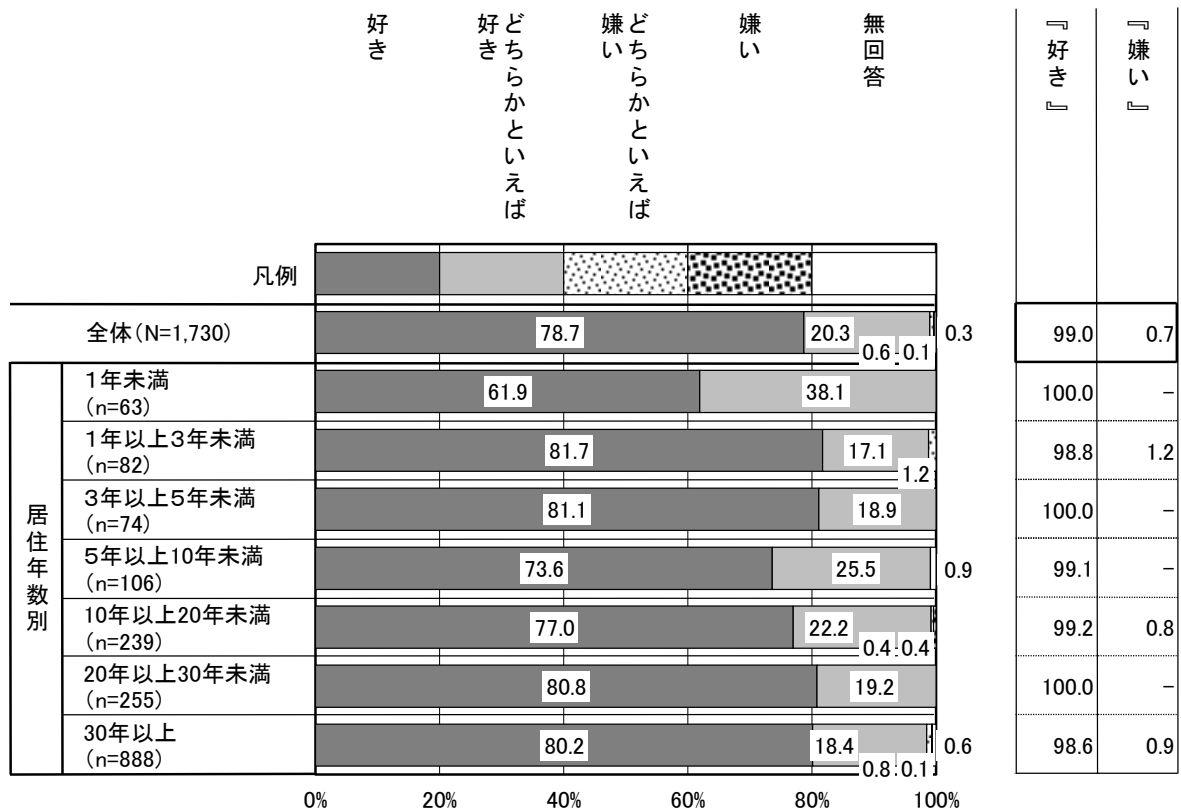
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『好き』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、男性60代では「好き」が7割弱にとどまっているものの、男性40代・50代及び女性40代・70歳以上では「好き」が8割を超えている。

図表 福岡市が好きか【性・年代別】



居住年数別にみると、いずれの居住年数においても『好き』の割合が9割を超えており、1年未満、3年以上5年未満、20年以上30年未満では『好き』の割合が100.0%となっている。

図表 福岡市が好きか【居住年数別】



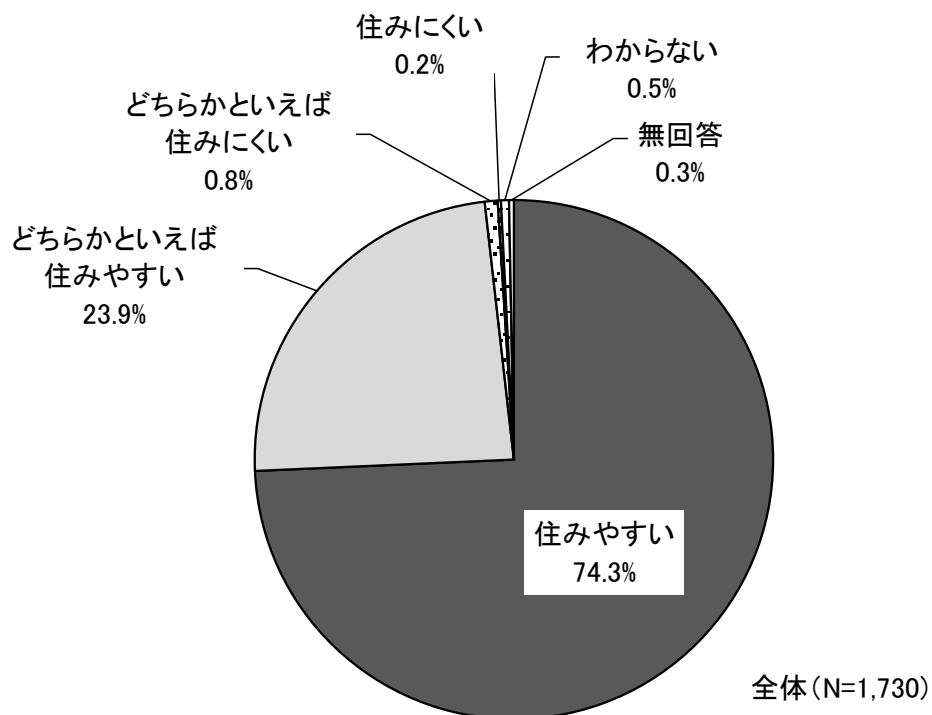
(2) 福岡市は住みやすいと思うか

問2 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

総合的にみて、福岡市は住みやすいと思うかについて聞いたところ、「住みやすい」が74.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」(23.9%)となっている。

また、『住みやすい』(=「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)の割合は98.2%で9割台後半となっている。一方、『住みにくい』(=「住みにくい」+「どちらかといえば住みにくい」)の割合は1.0%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【全体】

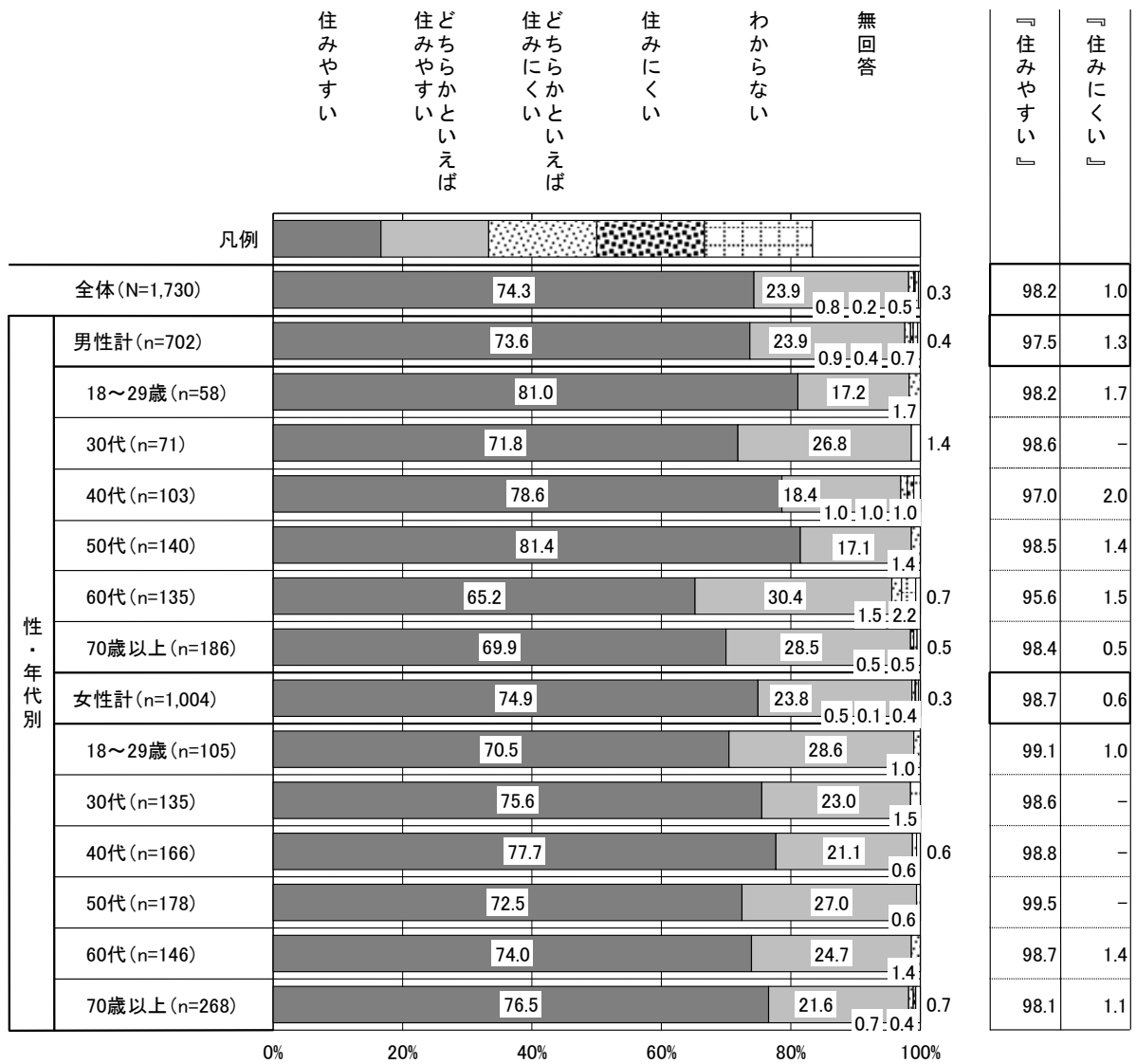


『住みやすい』	98.2%
『住みにくい』	1.0%

性別にみると、男女ともに『住みやすい』の割合が9割を超えている。

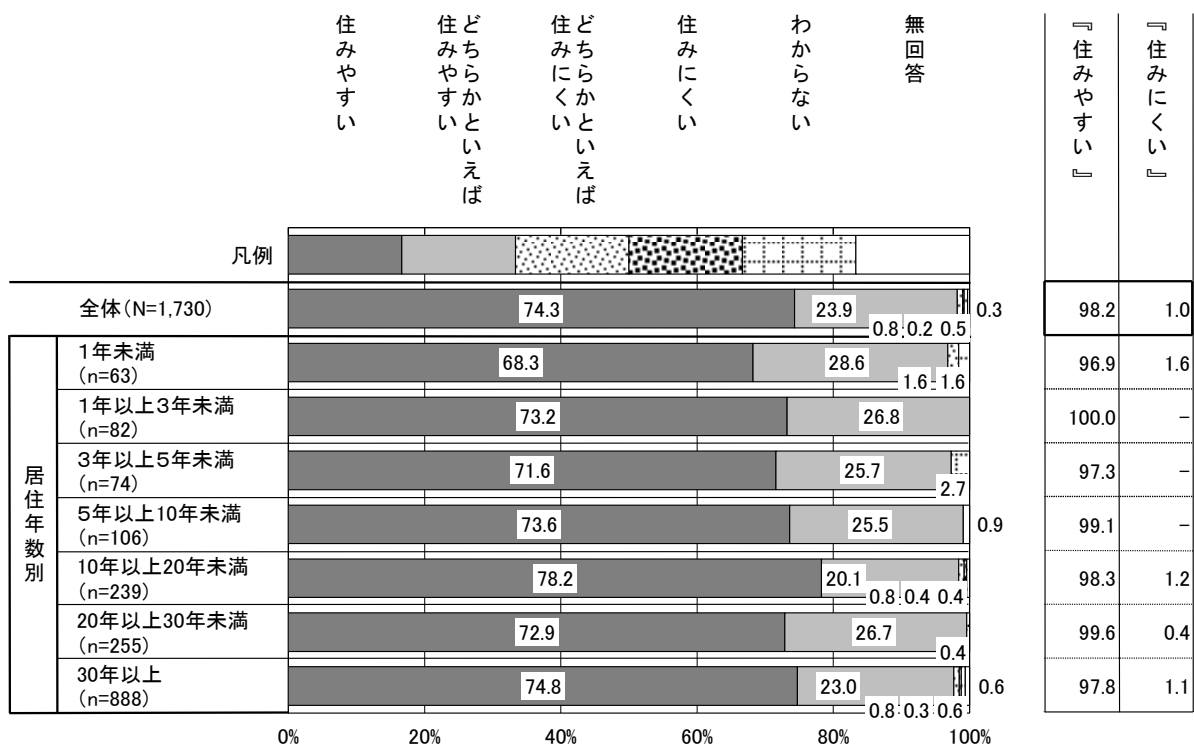
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『住みやすい』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、男性18～29歳・50代で「住みやすい」が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、いずれの居住年数においても『住みやすい』の割合が9割を超えており、1年以上3年未満では『住みやすい』の割合が100.0%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【居住年数別】



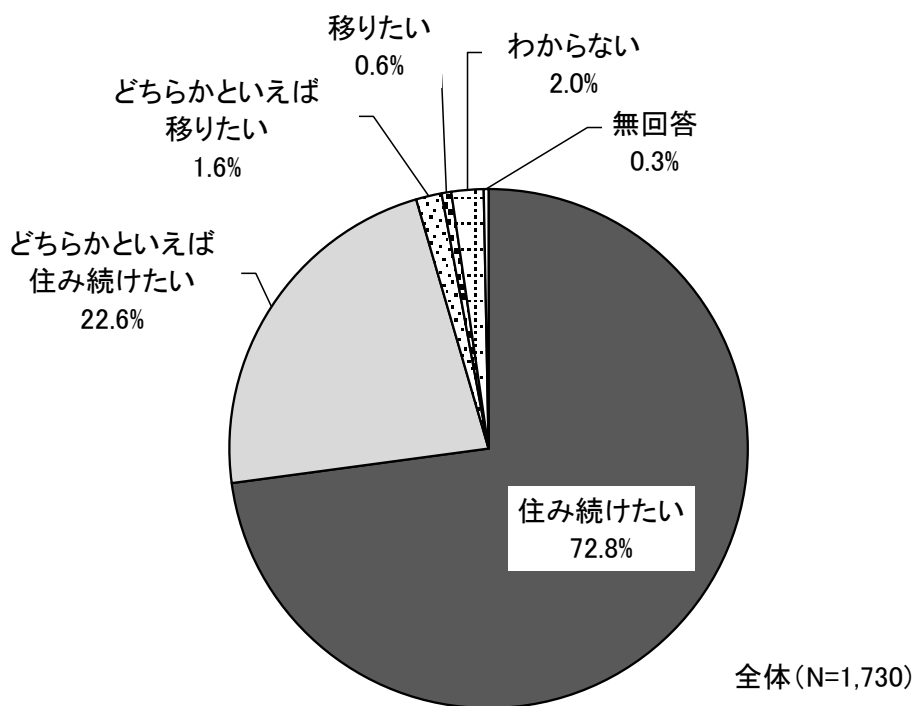
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか

問3 あなたは、事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思うかについて聞いたところ、「住み続けたい」が72.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(22.6%)となっている。

また、『住み続けたい』(=「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」)の割合は95.4%となっている。一方、『移りたい』(=「移りたい」+「どちらかといえば移りたい」)の割合は2.2%となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【全体】

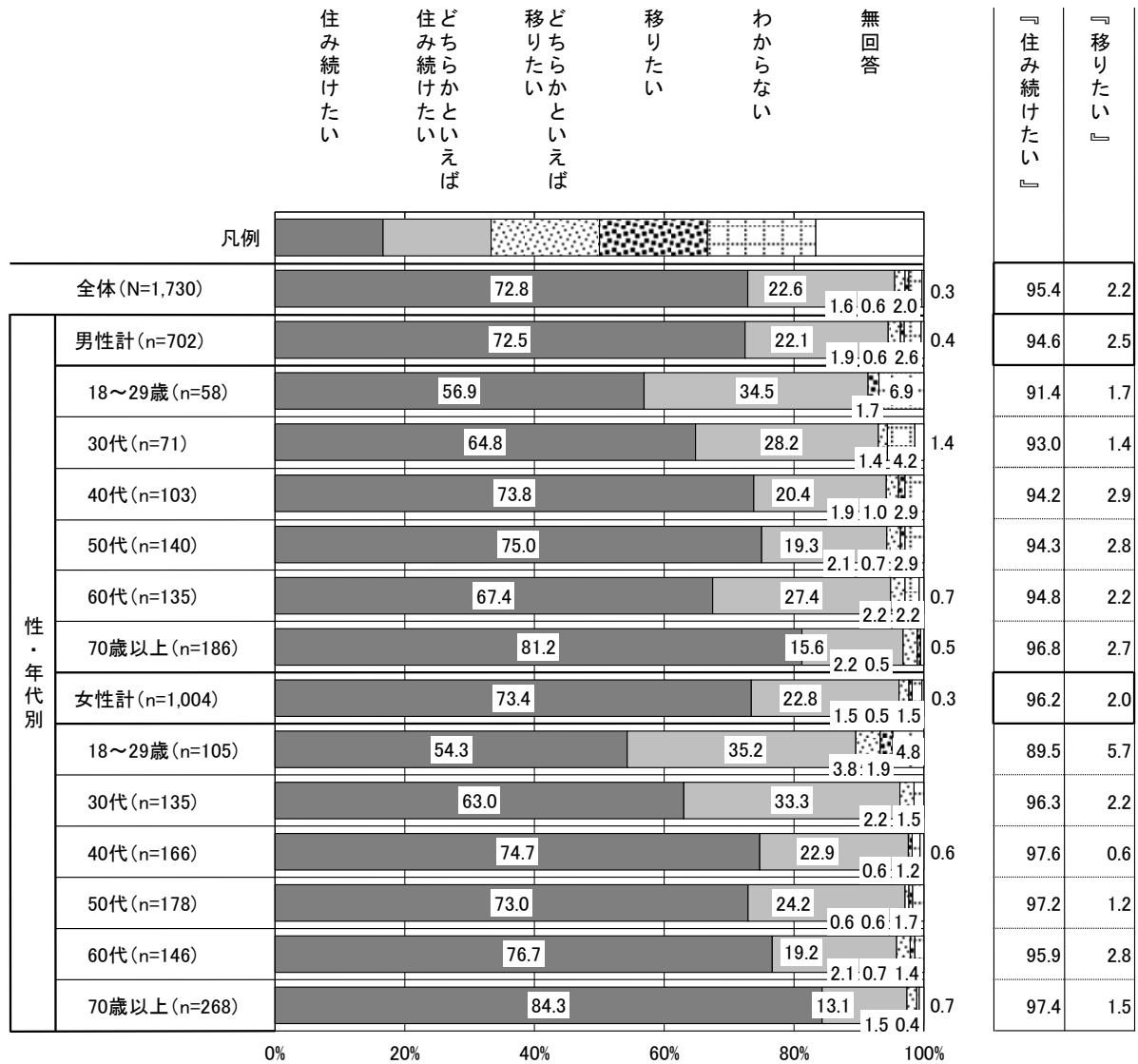


『住み続けたい』	95.4%
『移りたい』	2.2%

性別にみると、男女ともに『住み続けたい』の割合が9割を超えている。

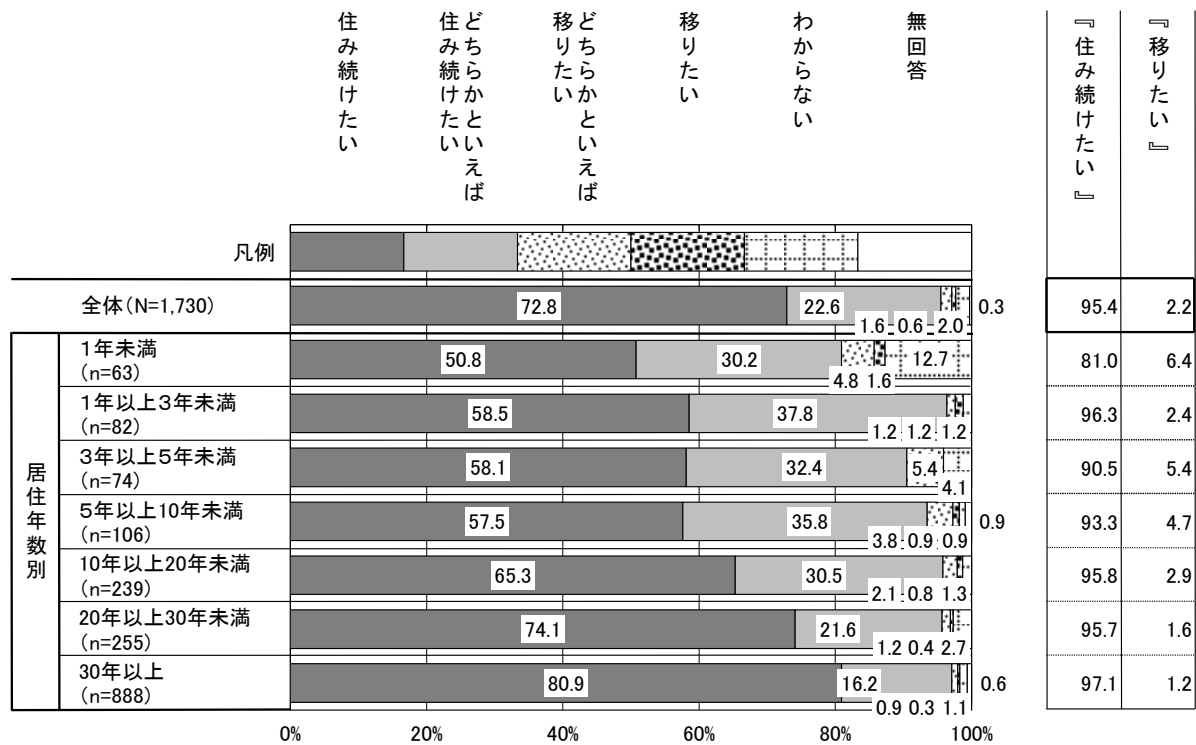
性・年代別にみると、男女ともに70歳以上では「住み続けたい」の割合が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向があり、30年以上では80.9%と最も高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【居住年数別】



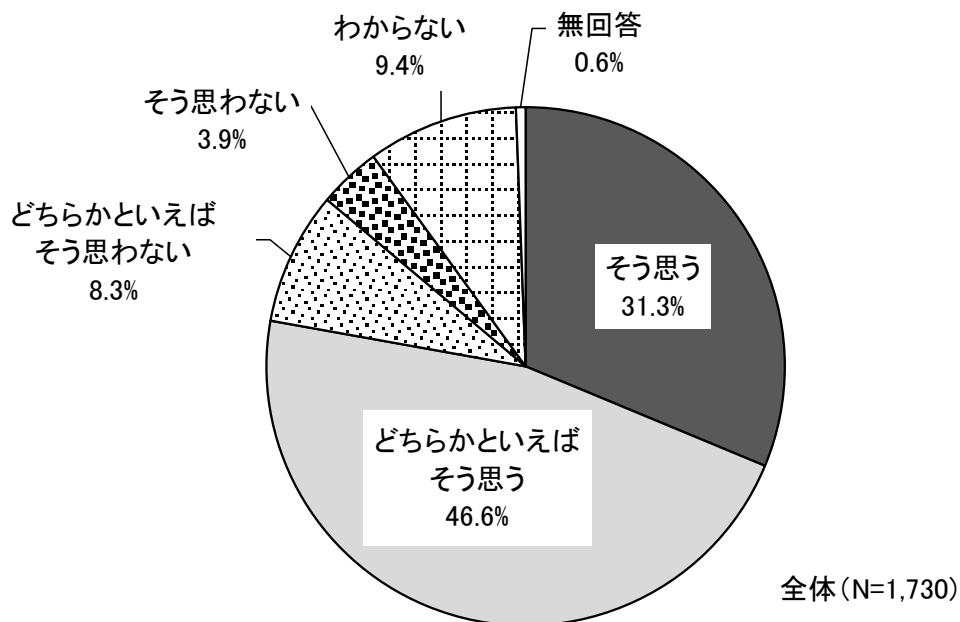
(4) 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか

問4 あなたは、福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うかについて聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が46.6%と最も多く、次いで「そう思う」(31.3%)となっている。

また、『そう思う』(=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合は77.9%となっている。一方、『そう思わない』(=「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合は12.2%となっている。

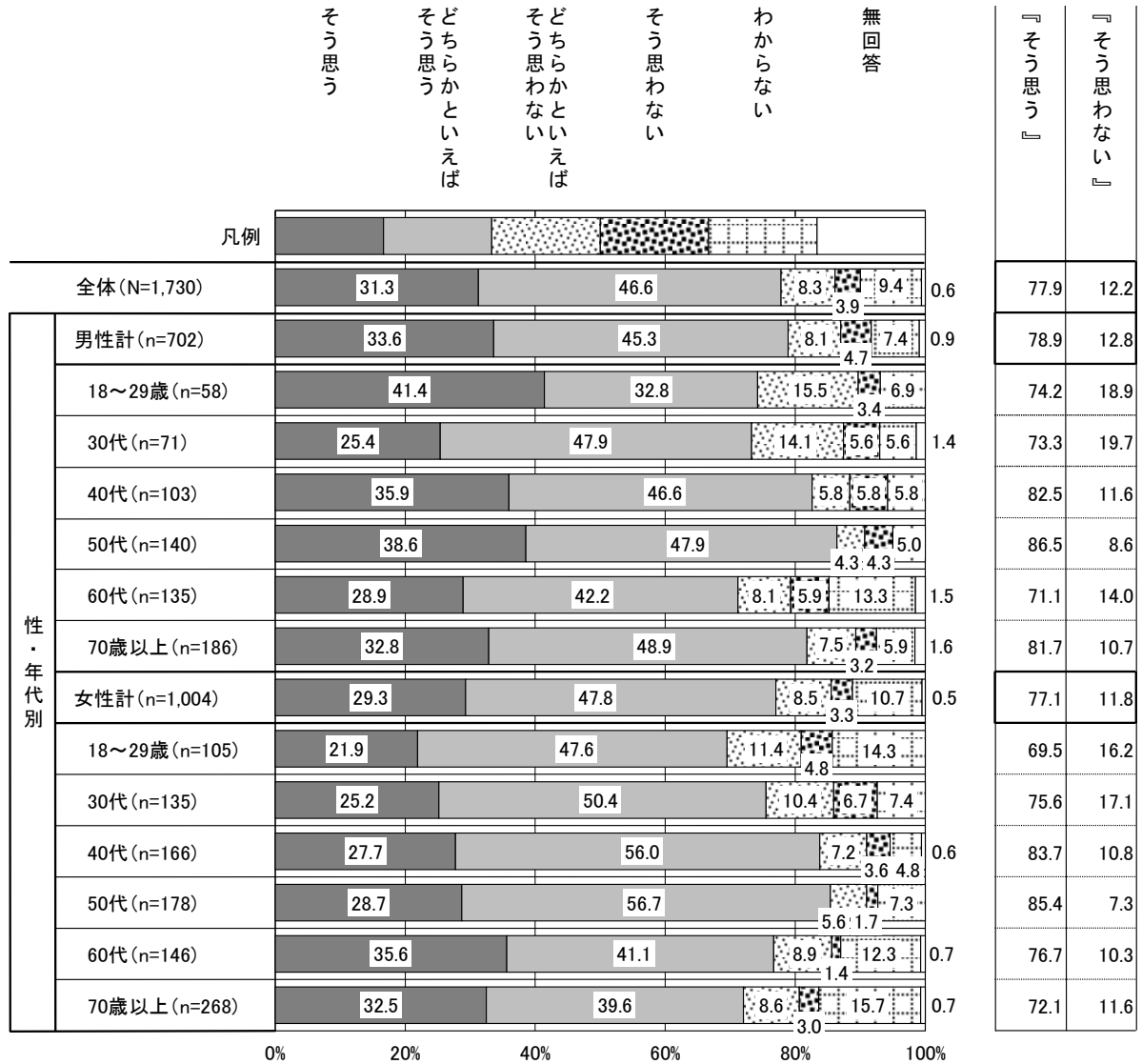
図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性40代・50代・70歳以上、女性40代・50代では、『そう思う』の割合が8割台となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。また、女性18～29歳では『そう思う』の割合が69.5%となっており、他の性・年代に比べて低くなっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【性・年代別】



(5) 福岡市の都市環境などに関する満足度

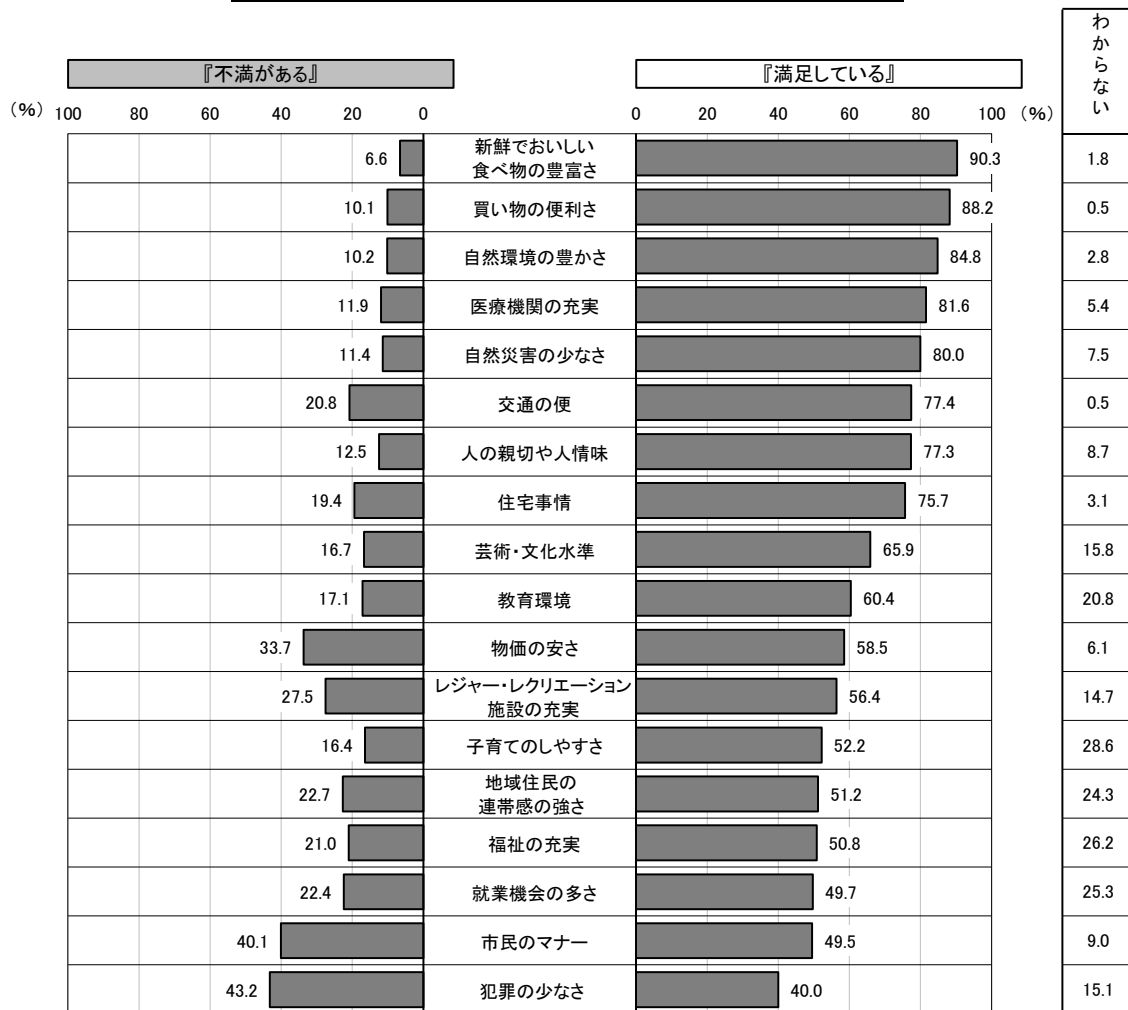
問5 以下の福岡市の都市環境などについて、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(18)のそれぞれについて、あてはまるものを**1つずつ**選んでください。

福岡市の都市環境などで、『満足している』(=「満足している」+「どちらかといえば満足」)の割合は「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」が90.3%と最も多く、次いで「買い物の便利さ」(88.2%)、「自然環境の豊かさ」(84.8%)となっている。

一方、『不満がある』(=「不満がある」+「どちらかといえば不満」)の割合は「犯罪の少なさ」が43.2%と最も多く、次いで「市民のマナー」(40.1%)となっている。

また、「わからない」の割合は「子育てのしやすさ」が28.6%と最も多く、次いで「福祉の充実」(26.2%)、「就業機会の多さ」(25.3%)、「地域住民の連帯感の強さ」(24.3%)となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【全体】



全体(N=1,730)

福岡市の都市環境などで『満足している』点について、性別にみると、男女ともに「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」（男性：91.4%、女性：89.6%）の満足度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、18歳～40代・60代男性、18～29歳・30代女性では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【性・年代別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	1,730	84.8 (3位)	75.7	77.4	88.2 (2位)	58.5	90.3 (1位)	65.9	60.4	52.2
男性計	702	83.3 (3位)	75.6	76.4	89.4 (2位)	59.1	91.4 (1位)	64.8	60.4	52.2
18～29歳	58	82.7 (5位)	82.8 (3位)	82.8 (3位)	94.8 (1位)	65.5	93.1 (2位)	63.8	60.3	39.7
30代	71	81.7 (4位)	71.9	83.1 (3位)	88.7 (1位)	63.4	88.7 (1位)	71.8	66.2	53.5
40代	103	80.6 (3位)	67.0	74.8 (5位)	91.3 (1位)	56.3	90.3 (2位)	66.0	56.3	52.4
50代	140	85.7 (3位)	77.1 (5位)	74.2	86.5 (2位)	68.6	92.9 (1位)	62.2	54.3	51.4
60代	135	83.7 (3位)	73.4	72.6	93.3 (1位)	54.9	91.1 (2位)	56.3	57.8	53.3
70歳以上	186	83.9 (5位)	79.5	77.9	87.1 (3位)	54.3	91.9 (1位)	69.9	67.2	55.9
女性計	1,004	86.3 (3位)	76.5	78.1	87.7 (2位)	58.3	89.6 (1位)	67.0	60.5	52.4
18～29歳	105	82.8 (5位)	73.3	87.6 (2位)	93.4 (1位)	49.5	85.7 (4位)	66.6	51.5	30.5
30代	135	83.7 (3位)	75.5	80.7 (5位)	92.6 (1位)	57.0	90.4 (2位)	70.4	63.7	51.1
40代	166	90.9 (3位)	77.1	81.3 (5位)	92.8 (2位)	57.9	94.0 (1位)	69.3	63.9	60.9
50代	178	87.6 (2位)	75.9	71.3	87.0 (3位)	68.0	95.0 (1位)	63.5	57.3	58.5
60代	146	84.3 (4位)	76.0	78.8	89.1 (2位)	57.5	90.4 (1位)	69.2	61.0	54.8
70歳以上	268	85.8 (1位)	78.7	75.7	80.3 (5位)	57.0	84.0 (2位)	65.0	63.0	52.3

単位：%

	就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
全体	49.7	81.6 (4位)	50.8	77.3	51.2	80.0 (5位)	40.0	49.5	56.4	全体
男性計	50.0	81.9 (4位)	52.6	75.0	51.3	77.5 (5位)	42.1	47.5	56.0	男性計
18～29歳	56.9	79.3	51.7	81.0	58.6	75.9	27.6	58.6	67.2	18～29歳
30代	53.5	78.9 (5位)	47.9	70.5	52.2	77.5	42.2	50.7	56.4	30代
40代	59.2	78.7 (4位)	49.5	71.9	46.6	66.9	28.1	36.9	54.3	40代
50代	48.6	79.3 (4位)	48.6	72.9	52.2	73.6	39.3	41.4	55.7	50代
60代	48.9	80.0 (4位)	46.7	71.8	42.9	80.0 (4位)	43.0	44.4	57.0	60代
70歳以上	45.2	89.8 (2位)	64.0	81.2	57.5	84.9 (4位)	55.4	55.9	53.2	70歳以上
女性計	49.7	81.9 (4位)	49.6	79.4	51.7	81.9 (4位)	38.7	51.2	57.1	女性計
18～29歳	54.3	87.6 (2位)	45.7	74.3	44.8	75.3	29.6	58.1	57.2	18～29歳
30代	54.1	83.0 (4位)	44.5	80.0	43.7	79.3	26.6	51.1	54.1	30代
40代	59.0	80.7	45.7	83.1 (4位)	62.1	80.1	38.5	48.8	68.7	40代
50代	52.2	80.3 (5位)	51.7	77.5	53.9	83.7 (4位)	41.0	43.2	54.5	50代
60代	46.6	81.5	50.0	83.6 (5位)	50.7	89.1 (2位)	41.1	54.8	50.0	60代
70歳以上	39.9	81.7 (4位)	54.1	77.6	51.1	82.5 (3位)	45.9	54.1	57.8	70歳以上

福岡市の都市環境などで『満足している』点について、行政区別にみると、東区、南区、早良区、西区では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、博多区、城南区では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。また、中央区では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「買い物の便利さ」の満足度がともに92.1%で最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『満足している』点【行政区別】

単位:%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	1,730	84.8	75.7	77.4	88.2	58.5	90.3	65.9	60.4	52.2
東区	361	83.4	73.5	74.8	84.8	53.4	88.9	61.2	59.0	49.5
博多区	224	76.8	78.1	87.5	90.6	55.4	87.1	69.2	52.7	43.7
中央区	203	85.2	76.3	85.7	92.1	65.5	92.1	66.0	57.6	52.2
南区	297	84.9	75.8	68.0	86.5	59.2	91.6	67.4	61.7	54.2
城南区	136	89.0	83.8	74.3	94.1	55.9	91.1	66.9	66.2	50.0
早良区	264	87.9	76.6	82.2	87.9	64.1	89.8	68.5	61.3	56.8
西区	221	90.5	74.2	73.4	88.2	58.9	93.2	66.0	67.8	60.2

単位:%

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
49.7	81.6	50.8	77.3	51.2	80.0	40.0	49.5	56.4	全体
46.5	77.0	49.0	73.6	49.3	82.8	41.2	44.9	58.5	東区
52.6	83.5	50.5	75.4	47.3	80.0	31.3	47.8	51.8	博多区
46.8	83.3	50.8	85.7	50.7	77.3	42.8	52.2	59.6	中央区
47.8	84.2	51.9	79.5	54.6	79.8	38.4	48.5	56.2	南区
48.5	86.7	50.7	75.0	47.1	83.0	38.2	54.4	58.1	城南区
54.1	82.6	53.7	76.5	54.6	77.6	43.5	52.2	54.5	早良区
54.3	80.1	50.7	78.7	55.7	80.1	44.8	52.9	58.9	西区

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、性別にみると、男女ともに「犯罪の少なさ」（男性：44.1%、女性：42.6%）の不満度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男女ともに18歳～40代・60代では「犯罪の少なさ」、50代では「市民のマナー」、70歳以上では「物価の安さ」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【性・年代別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の利便さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	1,730	10.2	19.4	20.8	10.1	33.7 (3位)	6.6	16.7	17.1	16.4
男性計	702	12.2	20.7	22.1	9.3	33.9 (3位)	6.0	18.4	18.7	17.9
18～29歳	58	12.1	15.5	17.2	3.4	25.8 (3位)	5.1	12.0	15.5	6.8
30代	71	14.1	23.9	16.9	9.8	33.8 (3位)	5.6	15.5	9.8	12.7
40代	103	13.6	31.1 (5位)	24.3	8.7	41.7 (3位)	9.7	19.4	25.2	23.3
50代	140	12.2	21.5	24.2	12.9	27.2 (5位)	5.7	22.1	22.2	19.3
60代	135	11.1	23.0	26.7	5.1	36.3 (3位)	4.4	21.5	23.7	22.2
70歳以上	186	11.3	13.5	19.3	10.7	34.4 (1位)	5.3	15.6	12.4	15.6
女性計	1,004	8.7	18.3	19.8	10.5	33.7 (3位)	6.9	15.3	16.1	15.3
18～29歳	105	13.4	20.9 (5位)	12.4	6.7	43.8 (2位)	10.5	11.4	16.2	16.2
30代	135	9.7	23.7 (5位)	19.2	7.4	36.3 (3位)	6.7	11.1	16.3	19.2
40代	166	6.6	18.1	16.8	5.4	36.1 (3位)	3.6	12.6	17.5	15.0
50代	178	9.6	21.4	28.1 (4位)	13.0	27.0 (5位)	4.5	24.7	23.6	17.4
60代	146	11.7	18.5	19.2	9.6	33.5 (3位)	6.9	17.2	16.4	13.7
70歳以上	268	5.6	12.7	19.5	14.9	30.9 (1位)	9.4	13.8	9.7	11.9

単位：%

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	施設・レジャー・レクリエーションの充実	
22.4	11.9	21.0	12.5	22.7 (5位)	11.4	43.2 (1位)	40.1 (2位)	27.5 (4位)	全体
24.4	12.7	22.7	15.6	26.3 (5位)	14.5	44.1 (1位)	43.4 (2位)	29.6 (4位)	男性計
22.4 (4位)	8.6	13.8	10.4	17.3	8.6	53.5 (1位)	32.8 (2位)	20.7 (5位)	18～29歳
24.0 (5位)	12.7	15.5	21.1	24.0 (5位)	14.1	46.5 (1位)	45.1 (2位)	28.2 (4位)	30代
22.3	15.5	21.3	19.5	24.3	24.3	55.3 (1位)	53.4 (2位)	35.0 (4位)	40代
27.2 (5位)	16.4	24.3	20.0	27.9 (4位)	20.7	50.7 (2位)	52.8 (1位)	32.8 (3位)	50代
27.4	16.3	33.3 (4位)	14.1	31.9 (5位)	13.3	46.7 (1位)	43.7 (2位)	28.9	60代
20.5	6.5	18.8	10.7	25.3 (5位)	8.0	27.9 (4位)	32.8 (2位)	28.0 (3位)	70歳以上
20.8 (5位)	11.0	19.7	10.2	19.7	9.3	42.6 (1位)	37.7 (2位)	25.8 (4位)	女性計
20.0	5.7	4.8	13.3	14.3	13.3	51.4 (1位)	33.4 (3位)	28.5 (4位)	18～29歳
21.5	8.1	12.6	8.9	14.8	6.7	55.5 (1位)	41.5 (2位)	31.9 (4位)	30代
19.3 (5位)	12.6	19.3 (5位)	10.2	14.4	13.2	47.6 (1位)	42.1 (2位)	22.9 (4位)	40代
23.6	14.1	20.7	12.4	21.9	10.1	44.9 (2位)	50.0 (1位)	31.4 (3位)	50代
24.7	13.7	29.4 (5位)	5.5	22.6	4.8	40.5 (1位)	34.3 (2位)	33.5 (3位)	60代
17.9	9.7	23.9 (5位)	10.8	25.0 (4位)	7.8	29.1 (2位)	28.0 (3位)	15.6	70歳以上

福岡市の都市環境などで『不満がある』点について、行政区別にみると、博多区、中央区、南区、城南区、早良区、西区では「犯罪の少なさ」、東区では「市民のマナー」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境などで『不満がある』点【行政区別】

単位：%

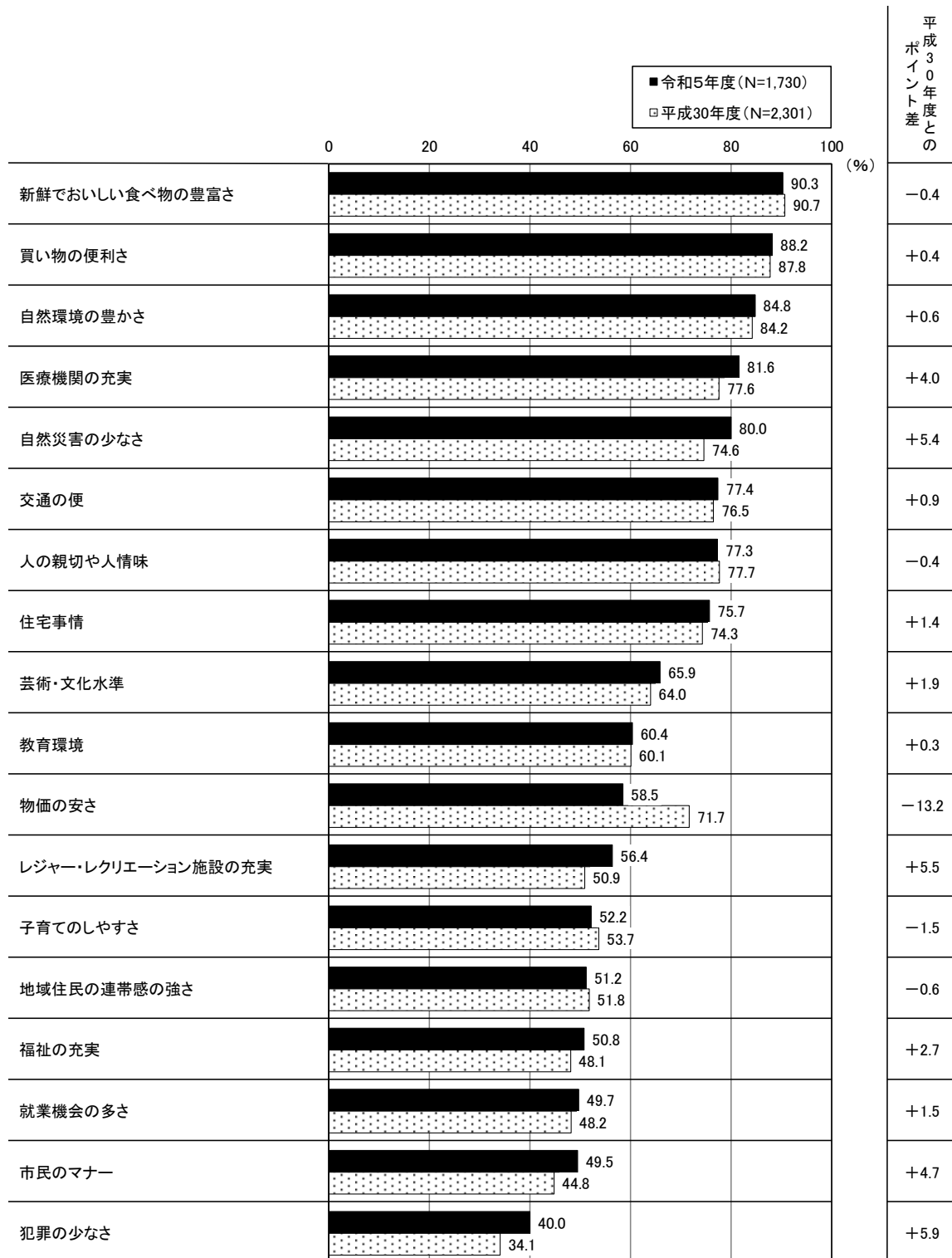
	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	1,730	10.2	19.4	20.8	10.1	33.7	6.6	16.7	17.1	16.4
東区	361	10.8	20.2	21.9	12.8	37.4	6.9	16.1	18.3	17.7
博多区	224	19.2	20.1	12.1	8.5	36.2	10.7	15.7	17.5	17.4
中央区	203	9.9	20.7	12.3	5.9	28.0	4.4	19.2	14.3	11.9
南区	297	10.5	20.2	31.0	12.4	34.3	6.4	15.2	17.2	18.5
城南区	136	6.6	10.3	23.5	5.1	33.9	5.9	16.9	15.4	16.9
早良区	264	6.4	18.2	15.9	9.5	28.8	6.4	17.8	19.3	15.9
西区	221	6.3	21.2	25.8	10.9	35.3	4.1	16.7	15.9	14.5

単位：%

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
22.4	11.9	21.0	12.5	22.7	11.4	43.2	40.1	27.5	全体
25.2	14.6	24.1	13.8	23.9	9.7	42.1	44.1	24.6	東区
23.3	9.8	15.7	13.4	23.7	12.0	52.7	42.0	29.4	博多区
19.2	10.4	18.2	7.4	21.6	11.9	40.9	36.5	23.7	中央区
22.9	11.5	22.9	10.4	19.6	12.5	43.8	42.1	29.6	南区
21.3	8.8	21.3	15.4	25.0	10.3	46.3	37.5	28.0	城南区
21.2	10.2	18.2	14.4	22.8	11.4	40.5	37.5	29.5	早良区
20.3	14.0	23.5	13.2	21.7	12.6	38.0	36.7	27.2	西区

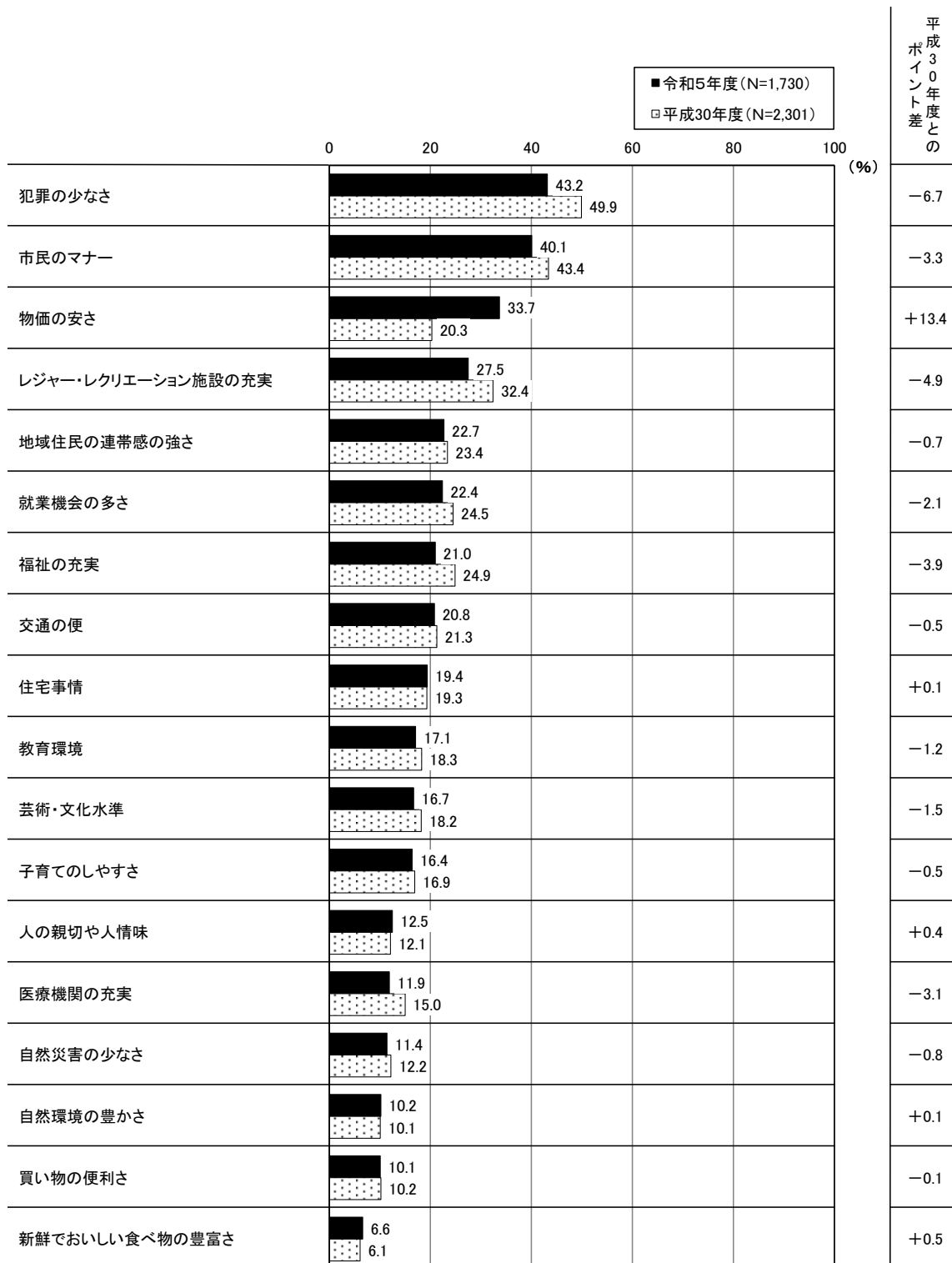
満足度について、過去の調査結果と比較すると、令和5年度は平成30年度に比べて、満足度が高くなった項目が13項目、低くなった項目が5項目となっている。平成30年度と比べて特にポイントの差が大きいものについてみると、「犯罪の少なさ」が5.9ポイント増加、次いで「レジャー・レクリエーション施設の充実」が5.5ポイント増加、「自然災害の少なさ」が5.4ポイント増加となっている。逆に、「物価の安さ」は13.2ポイントの減少となっている。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度【過去の調査との比較】



不満度について、過去の調査結果と比較すると、令和5年度は平成30年度に比べて、不満度が低くなった項目が13項目、高くなった項目が5項目となっている。平成30年度と比べてポイントの差が大きいものについてみると、「犯罪の少なさ」が6.7ポイント減少、「レジャー・レクリエーション施設の充実」が4.9ポイント減少となっている。逆に、「物価の安さ」は13.4ポイント増加となっている。

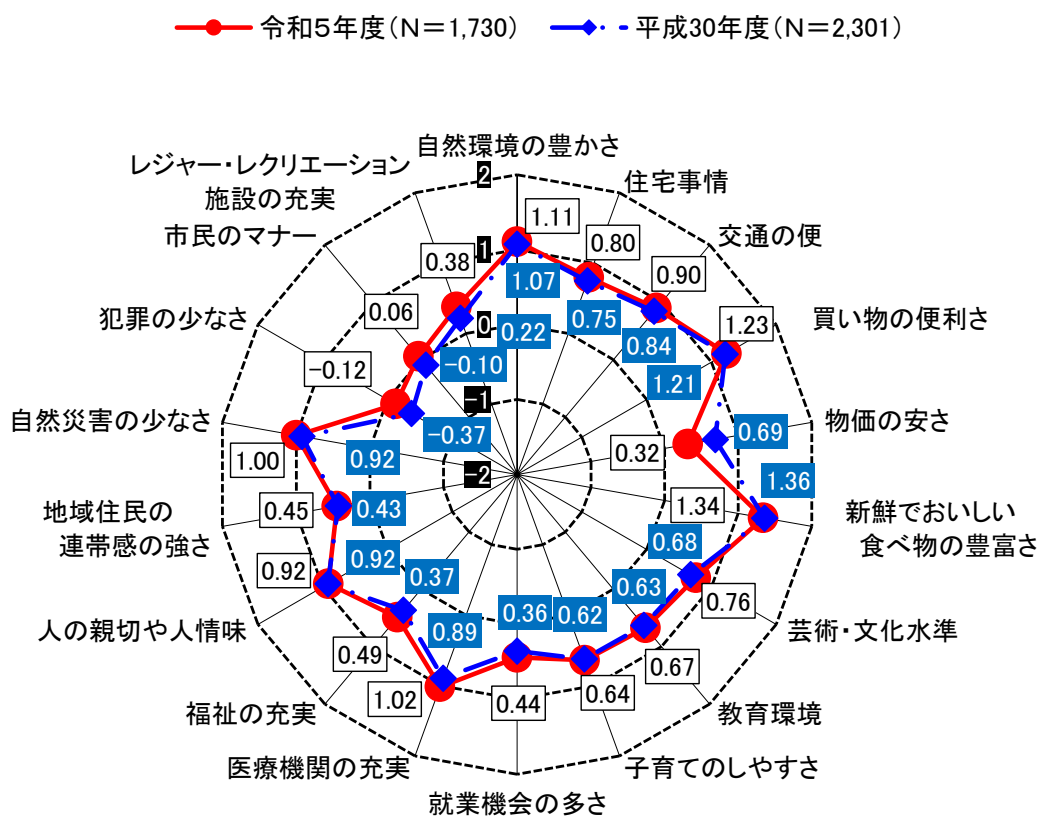
図表 福岡市の都市環境などに関する不満度【過去の調査との比較】



福岡市の都市環境などの満足度について、平均評定値*を過去の調査結果と比較すると、「自然環境の豊かさ」「買い物の便利さ」「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」は平成30年度と令和5年度のどちらも平均評定値が1.00を超えている。一方、「犯罪の少なさ」はどちらも平均評定値がマイナスとなっている。

また、令和5年度は平成30年度と比べ、18項目中15項目でポイントが上がっている。特に「犯罪の少なさ」(+0.25)は平均評定値がマイナスではあるものの、数値が向上している。一方、「物価の安さ」(-0.37)は大幅に低下している。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】



※平均評定値について
 イメージ等、通常は数値的に評価することができないものを定量的に評価するため、「満足している」:+2点、「どちらかといえば満足」:+1点、「どちらかといえば不満」:-1点、「不満がある」:-2点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。したがって、+2点に近いほど「肯定(好意的)」、逆に-2点に近いほど「否定(非好意的)」であることを示す。

図表 福岡市の都市環境などに関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】

単位:点

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
令和5年度	1,730	1.11	0.80	0.90	1.23	0.32	1.34	0.76	0.67	0.64
平成30年度	2,301	1.07	0.75	0.84	1.21	0.69	1.36	0.68	0.63	0.62

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
0.44	1.02	0.49	0.92	0.45	1.00	-0.12	0.06	0.38	令和5年度
0.36	0.89	0.37	0.92	0.43	0.92	-0.37	-0.10	0.22	平成30年度

※網掛けは「0.00」から最も遠い数値に行っている